



八戸市

◎事業名

日本一のなりきり音楽祭！ in HACHINOHE



＜事業主体名＞
ミュージックレビュー HACHINOHE 実行委員会
＜事業年度＞
令和元年度
＜助成金使用項目＞
○出演者の全国公募
○イベント運営費
○会場費 他
＜連絡先＞
ミュージックレビュー HACHINOHE
実行委員会 事務局 中嶋 つくみ
〒031-0042 八戸市十三日町15
フラワーエイトビル3階
TEL.0178-80-7272

プロジェクトの経緯

令和元年度 平成23年度から市民参加型の音楽祭「ミュージックレビュー HACHINOHE」開催。以後、八戸中心商店街ストリートや八戸市公会堂にて毎年開催。令和元年度からは八戸市民館ホールで「日本一のなりきり音楽祭！ in HACHINOHE」としてリニューアル

9年目を迎える リニューアルした音楽祭

「音楽が心をつなぎ、まちを楽しくする」を合言葉に開催してきた「ミュージックレビュー HACHINOHE」。もともとは、私が商工会議所青年部の会長を務めていたとき、たまたま仙台の「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」を見たのがきっかけでした。出演者だけで7500人、来場者が全国から70万人以上集まると。街全体がものすごく盛り上がりつつある姿を見て、これ八戸でもできるのではないかと考えたのです。というのは、八戸は吹奏楽や合唱のレベルが全国的に見ても非常に高い。また、そうした吹奏楽や合唱をやった方々の多くが、社会人になつてからバンドを組んでいて、そのレベルもたいへん高いのです。この八戸の強みを生かして「定禅寺を超えるような音楽イベントをやつて、八戸を元気にできないだろうか」とそう考えました。最初は歩行者天国をやつていたのですが、7回目から、八戸市公会堂の

指定管理者であるアート&コミュニケーションズさんの協力を得て、公会堂で開催できるようになりました。

令和元年、第9回となる同イベントは、「日本一のなりきり音楽祭！ in HACHINOHE」と、タイトルもスタイルも変更して開催されました。

「ミュージックレビュー HACHINOHE」では、ジャズ、吹奏楽などいろいろなジャンルの出演者がいましたが、もともとコピーバンドも多く出場していましたが、八戸のバンド名も本家のパロディになっていたりと、コスチュームもMCも本物になりきって、こだわりをもつてやっている人たちが多く、また、コピーですからもともと知っている曲が多いので、一体感も生まれます。じゃあもう、他はやめてコピーバンドだけにしよう。これまでも毎年出ていた他ジャンルの方が出られなくなるのは残念ですが、「ナリキリ」という一

わつた後、他地域の人から「八戸っていいね」「八戸大好き」という言葉を多く聞かされたので、彼らに言葉が多く聞かされたこと、このイベントを口コミやSNSで広げてくれているようだから、八戸のPRにも繋がっていると思います。

本書も「ナリキリ」にして観客が増え、ほぼ満員でした。「ナリキリ」という言葉に訴求力があつたようで、市民のみならずの反応も良かっただけです。ですから、次回からも「ナリキリ」だけのスタイルで継続していきます。来年は、来場者参加型の審査を行って、グランプリ、進グランプリくらいを決めたいです。

いつそう盛り上がるのではないでしょうが、華としては、全国から出演者も観客も集まるようなイベントにしてYSアリーナ八戸をフラットアリーナでやってみたくてですね。そしていつか、コピーされるような本人が一人でも遊びに来てくれたら最高ですわ。

次回はご自身も出演したいと語る佐々木さん

08

（八戸市）「日本一のなりきり音楽祭！ in HACHINOHE」

このキーワードにこだわってやってみようということになりました。

「ナリキリ」とは？ 「モノマネ」と何が違う？

「モノマネは、相手が誰であるかが似ていればそれだけでいい。ナリキリは、アーティストに対する愛が大切で、声が似ているとか似ていないではなく、その人になりきった気分を味わいたいという人たちがいます。イベントタイトルとしては全国に他にないので、八戸オリジナルのイベントといえると思います。公会堂というプロも立つステージで、ライティングから音響から、全てプロが使う機材、演出でやれるわけですから、出演者も気持ちいいですよ。最高のパフォーマンスを發揮できる。ですから出演を希望される方は多いです。以前から、八戸の人以外にも出演し



ミュージックレビュー HACHINOHE 実行委員会 実行委員長 佐々木 伸夫さん

八戸発祥の “ナリキリ”バンドの音楽祭 いつか全国規模のイベントへ

てももっていたのですが、今回は北東北3県と、関東のライブハウスにも募集のチラシを送り、最終的には、弘前、青森、十和田、秋田県、岩手県から応募がありました。

八戸のPRにもつながるイベント 目標は全国規模の音楽祭

初日の夜には、「第1回コピーバンドサミット」というイベントも開催されました。「地元の聴衆と出演者の交流会であり、また、出演者ほか他の人の本番の演奏は見られないので、この機会に見て、刺激を受けていようです。それぞれ、本番ではやらない曲を演奏したり、音楽という共通言語がありますから、初めて会った人同士とは思えないくらい意気投合して盛り上がるんですね。次の年への繋がりというのを考えると、こうした交流はとても重要だと思います。サミットが終



「日本一のなりきり音楽祭！ in HACHINOHE」本番のステージ